


第5学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 歌詞の表す気持ちを大切にしておう
- 2 教材 「南風によって」 若松 敏 作詞・作曲
- 3 指導に当たっての考え方

教材分析	
<p>楽曲「南風によって」は、みんなへ向けての強いメッセージが込められた曲である。</p> <p>特徴的な要素は以下の通りである。</p> <p>歌詞：前半と後半のメッセージの違い。特に後半に強い意志</p> <p>和声：後半部分は3度の音の重なりが続く二部になっている。</p> <p>強弱：後半に強弱の変化や速度の変化をつけることで、広がる思いを伝える表現ができる。</p>	 <p>後半に「どこまでもどこまでも」や「いつまでも忘れない」といったメッセージが込められているので、後半部分の二部合唱で響きを豊かにしたり、最後のフレーズの上行旋律をクレッシェンドしていく等の表現ができる。</p> <p>以上のような教材であるので、歌詞の表す気持ちを工夫して表現することができると思います。</p>

児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌うことを好み、自分なりに歌詞内容をとらえて歌おうとしている姿が見られる。 ○ 曲想を感じ取り、強弱や速さを変化させて表現を工夫しているが、そのよさを十分に感じ取るころにはいたっていない。 ○ 高音部は自然な声で歌えるが低音部分は地声になりがちである。「いつでもあの海は」や「やさしい風に」などで二部合唱にも取り組み、ハーモニーを響かせたいという思いはもっている。

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<p>曲想や楽曲の特徴を聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 歌詞朗読後の範唱CDの聴き取り ○ 他学級が録音した歌声の聴き取り 	<p>つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後のフレーズを盛り上げていきたい。 ・後半にみんなの思いが歌われているので後半は二部合唱で響かせたい。 	<p>歌詞に込められた思いを感じとりながら斉唱で歌い、次時表現への具体的な思いをもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ さわやかな曲想をとらえること ○ 聴唱や視唱で歌うこと ○ 歌詞に込められた思いを広げていく感じを表現していきたい等といった思いを話し合うこと ○ 後半からは二部合唱で表現されていること
<p>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 拍の長さの聴き比べ・歌い比べ ◎ 強弱の変化の聴き比べ・歌い比べ ○ 前半部と後半部のつなぎ方の聴き比べ 	<p>深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このフレーズをクレッシェンドすることで広がる感じになってきた。 ・もっと二部を響かせていきたい。 	<p>歌詞に込められた「どこまでも広がる思い」をよりよく表現するために、歌い方の工夫をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌い比べや聴き比べをしながら表現への思いを実現すること ○ 最後のフレーズの強弱の変化の聴き取り
<p>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の発音の聴き比べ ○ フレーズのまとめ方の聴き比べ ◎ 録音した歌声の聴き合い 	<p>味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい南風のような表現になったな。 ・思いが広がるように二部の響きと強弱で表せてよかったな。 	<p>自分たちが創り上げた表現を歌ったり聴いたりして歌い浸ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌い比べ・聴き比べで発声、発音や二部の響きをよりよくすること ○ 録音して表現のよさを聴き合うこと、相互評価すること

題材目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の内容、曲想を感じとりながら、思いや意図を持って歌唱の活動に意欲的に取り組んでいる。 (関心・意欲・態度) ○ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、強弱の変化や音色などの歌い方を工夫して歌うことができる。 (感受・表現の工夫) ○ 呼吸法及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で二部合唱することができる。 (表現の技能)

4 指導計画(2時間)

	つかむ①(本時)	深める・味わう①
ね ら い	歌詞の内容, 曲想を生かした表現を工夫しながら, 自然で無理のない, 響きのある歌い方で斉唱することができる。	作詞者や作曲者の意図を探求して, 楽曲に対する理解を深めるとともに, 心を合わせて歌うことの喜びを味わうことができる。
指 導 内 容	○曲想をつかむこと ○斉唱で正しく歌うこと ◎歌詞に込められている思いを感じとること ◎表現に対する具体的な思いをもつこと ○思いにそった表現ができるように, 強弱や歌い方などを工夫すること	◎二部合唱で歌うこと ◎聴き合ったり歌い合ったりして, よりよい表現へと高めていくこと ○友達と声を合わせて歌うことを通し, 表現する喜びを味わうこと
主 な 学 習 活 動 と 内 容	<p>1 楽曲「南風にのって」と出会い, 本時学習のめあてについて話し合う。【聴く活動①】</p> <p>(1) 歌詞を音読し, 歌詞に込められた思いに目を向ける。 ○ 思いや願いが込められた歌詞であること</p> <p>(2) 範唱 CD を聴き, 曲想をつかむ。 ○ 思いや願いがどこまでも広がっていくような, さわやかであたたかい曲であること</p> <p>(3) 本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 本時の目標を明確にもつこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぼくらの思いや願いが南風にのって どこまでも広がるように歌おう。</p> </div> <p>2 歌詞に込められた思いが伝わるように歌い方の工夫をして斉唱で歌う。</p> <p>(1) 範唱 CD に合わせて斉唱で歌う。 ○ 歌詞と音程を正しく覚えること</p> <p>(2) 歌詞に込められた思いが伝えられる部分について考える。 ○ 歌詞や旋律からとらえること</p> <p>(3) どこまでも広がるような歌い方の工夫を話し合い, 歌い比べ, 聴き比べをする。 ○ 思いが広がるように, 強弱や歌い方などを工夫すること</p> <p>3 本時学習のまとめとして歌い, 次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) まとめとして歌う。 ○ 歌詞に込められた思いを伝えるように斉唱で歌うこと</p> <p>(2) 他学級の合唱を録音した歌を聴き, 自分たちの歌と比べる。【聴く活動②】 ○ 遠くまで思いや願いを広げるにはどのように歌えばいいかを考え, 次時学習の課題へとつなげること</p> <p>(3) 低音部の音程を確かめて二部合唱を行い, 次時学習では二部合唱で歌い方の工夫をすることを確認する。 ○ 低音部も歌い方を工夫して二部合唱したいという思いをもつこと</p>	<p>1 前時学習を振り返りながら, 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 前時にもった表現の工夫を確認し, 「南風にのって」を斉唱で歌う。 ○ 前時に話し合った歌い方の工夫を意識しながら歌うこと</p> <p>(2) 本時のめあてについて話し合う。 ○ 本時の目標を明確にもつこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みんなの思いが南風にのって もっと広がっていくように合唱しよう。</p> </div> <p>2 思いが伝わるように歌い方の工夫を高め, 二部合唱する。</p> <p>(1) 低音部の音を取り, 二部合唱の練習をする。 ○ 低音部の音程を正しく覚えること</p> <p>(2) より強弱を出すための歌い方や発声法などを話し合い, 歌い比べや聴き比べをしながら歌う。 ○ 聴き比べること・歌い比べること 【聴く活動③】 ○ 強弱を工夫すること</p> <p>3 「南風にのって」を歌い, 本題材の学習をまとめる。</p> <p>(1) まとめとして歌い, 録音する。 ○ 二部合唱・強弱の工夫, 言葉の発音など, 確認して歌うこと</p> <p>(2) 録音した歌を聴く。【聴く活動④】 ○ 歌詞に込められた思いが伝わるように歌えたこと</p> <p>(3) 本題材の学習をふり返り, まとめる。 ○ 二部合唱や強弱をつけて歌うことで, 歌詞に込められた思いがよりしっかりと表現できること</p>

5 本時 つかむ段階 (1 / 2)

6 本時の目標

歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫しながら、自然で無理のない、響きのある歌い方で斉唱することができる。

7 準備 教師：範唱 CD、拡大楽譜、縦書き歌詞、他学級合唱の録音物
児童：音楽ノート、筆記用具

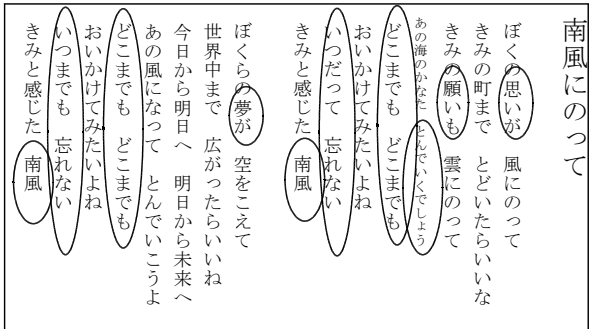
8 本時指導の考え方

本時は、楽曲に込められた思いをしっかりと捉え、その思いを表現するための工夫を考えて、斉唱で表現することが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲に出会う場面で、歌詞に着目しながら曲想をつかむことができるように教師による歌詞の範読と全員での群読を行い、その後範唱 CD の聴き取りをさせる【聴く活動①】。つかんだ曲想から、本時学習のめあてについて話し合わせるようにする。

【聴く活動①】について


ねらい	手だて	期待する子どもの様子
歌詞に着目しながら、曲想を感じ取らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ版の範唱 CD。 ・歌詞に着目させることができるように、歌詞を読んだ後で範唱 CD を聴かせる。 ・歌詞に着目できるように縦書き歌詞を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかな曲だな。 ・あたたかい曲だな。 ・「どこまでも どこまでも」とくり返しているので、どんどん思いが遠くまで飛んでいっている。 ・自分の思いやみんなの思いが世界中にどこまでも広がっていくような曲だな。

- 次に、思いや願いがどこまでも広がっていくように歌うために、工夫したい部分にしるしを付けさせる。その際、頭の中だけでなく楽曲にたちもどって考えることができるように、歌なしの CD を聴かせ、口ずさみながらしるしを付けさせていく。


- さらに、しるしを付けた部分について、遠くまで思いや願いを広げるための歌い方の工夫を考えることができるように、それぞれが考えている、こんなふうに歌ったらいいのではないかという歌い方で歌い比べや聴き比べをする。

- 最後に、思いや願いがどこまでも広がっていくように歌声で表現できたかどうか判断するために、他学級で録音した合唱を聴きながらふり返りをする【聴く活動②】。そのふり返りをもとに、思いや願いをもっと広げることができるようにするためにはどうすればいいのか考え、次時学習の具体的な課題について話し合わせるようにする。

【聴く活動②】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
自分達の歌声と他学級の歌声とを比べることで、次時表現に向けての具体的な表現への思いをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱したい、フレーズに強弱の変化をつけたいという思いをもたせるために、「どこまでも どこまでも」と「きみと 感じた 南風」の部分の強弱がはっきりした合唱を録音したものを聴かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「どこまでも どこまでも」は、もっと思いが広がっていくように歌い方を工夫したい。 ・「君と 感じた 南風」は、思いが飛んでいっているように強弱を工夫して歌いたい。 ・思いをもっと広げるために、後半は二部合唱で歌いたい。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p>1 楽曲「南風にのって」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 歌詞を朗読し、歌詞に込められた思いについて話し合う。 ○ 思いや願いが込められた歌詞であること</p> <p>(2) 範唱 CD を聴き、曲想を感じ取る。 ○ 自分の思いやみんなの思いがどこまでも広がっていく、さわやかであたたかい曲であること【聴く活動①】</p> <p>(3) 本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 本時の目標を明確にもつこと</p> <div data-bbox="204 568 885 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ぼくらの思いや願いが南風にのって どこまでも広がるように歌おう。</p> </div> <p>2 歌詞にこめられた思いを感じ取りながら斉唱で歌う。</p> <p>(1) 範唱 CD に合わせて斉唱で歌う。 ○ 歌詞と音程を覚え、高音部を正しく歌うこと</p> <p>(2) 歌詞に込められた思いが伝えられる部分について話し合う。 ○ 思いや願いを南風にのせてどこまでも広がっていくことを伝えたいという思いをもつこと</p> <p>(3) どこまでも広がるような歌い方の工夫を話し合い、教師範唱の聴き取りや、歌い比べ、聴き比べをする。 ○ 思いが広がるように、強弱や歌い方などを工夫すること</p> 	<p>・リズムや旋律だけでなく、歌詞にも着目させるために歌詞を教師が読んで聞かせ、全員で音読させる。その後オーケストラ版の CD を聴かせる。</p> <p>・歌詞や楽譜に着目しやすいうように、縦書き歌詞と拡大楽譜を提示する。</p> <p>※ 思いや願いがどこまでも広がっていくような、さわやかであたたかい曲であることを感じ取っている。</p> <p>・斉唱で正しく歌えるように、オルガンで音をとったり、教師と一緒に歌ったりしながら範唱 CD に合わせて歌う。子どもに不安定な部分がないか聞き、その部分を取り出して何度か練習する。</p> <p>・思いや願いがどこまでも広がっていくことを伝えたいと思った部分にしるしを付けさせ、なぜその部分と思ったのか理由を聞く。その際、歌なしの CD を聴かせ、口ずさみながらしるしをつけさせるようにする。</p> <p>・表現につなげやすいようにするため、しるしは楽譜につけさせる。</p> <p>・歌声でも確かめられるように、歌い試しをしながら工夫を考えさせる。</p> <p>※ 思いが広がっていくように歌うための具体的な歌い方の工夫を考へることができている。</p>
<p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時表現への思いをもつ。</p> <p>(1) まとめとして歌い、本時学習をふり返る。 ○ 歌い方の工夫をして、歌詞に込められた思いが表現できたことを感じる</p> <p>(2) 他学級の合唱を録音した歌を聴き、自分たちの歌と比べる。【聴く活動②】 ○ 遠くまで思いや願いを広げるにはどのように歌えばいいかを考え、次時の課題へとつなげる</p> <p>(3) 低音部の音程を確かめて二部合唱を行い、次時では二部合唱で歌い方の工夫をすることを確認する。 ○ 低音部も歌い方を工夫して二部合唱したいという思いをもつこと</p>	<p>・拡大楽譜で本時工夫したところを示しながら歌わせ、斉唱での工夫に対する達成感をもたせる。</p> <p>・「どこまでも どこまでも」と「きみと感じた 南風」の部分の強弱がはっきりした歌声を録音したものを聴かせる。</p>

南風にのって

きみと	感じた	南風	ぼくらの	夢が	空を	こえて	きみの	町まで	とどいた	らいいな	ぼく	思いが	風に	のって
きみと	感じた	南風	ぼくらの	夢が	空を	こえて	きみの	町まで	とどいた	らいいな	ぼく	思いが	風に	のって